

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

| | | | |
|------|-----|-------|-----|
| 担当部署 | 総務課 | 災害対策室 | 土木課 |
|------|-----|-------|-----|

| | |
|------|--------------------------------|
| 基本目標 | 3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～ |
| 施策 | 12 防災 |

| 事業の内容 | 具体的な事業結果 | 事業の実効性※1 | 事業の達成度※2 |
|--------------|--|----------|----------|
| 1 防災・減災対策の充実 | (総務課) (災害対策室) 地震対策補助金の積極的な活用を図り、減災対策を進めた。 | B | B |
| 2 地域防災力の向上 | (災害対策室) 段ボールベッド、避難ルーム、災害用トイレを購入し、避難所機能向上を図った。 | B | B |
| 3 非常備消防体制の充実 | (災害対策室) 消防水利及び消防団活動に必要な設備等の適正な維持管理を行い、活動装備品の充実を図った。 | A | A |
| 4 国民保護体制の充実 | (災害対策室) J-ALERT(全国瞬時警報システム)の適正な運用及び維持管理に努めた。 | A | A |
| 5 浸水対策の充実 | (土木課)河川や水路の流下能力不足による浸水被害が生じていることを受け、その対策として愛知県を始め関係する河川流域市町との連携を図り、青木川を始めとする河川や水路の改修の推進を図った。また、雨水利用貯留施設設置費補助金(9基)、雨水浸透枳設置費補助金(1基)により雨水流出抑制対策を推進した。 | A | B |
| 6 | | | |

| めざそう値・指標名 | 指標の定義 | 基準値(H28) | 実績値 | | | | |
|--------------------|---|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 目標値(R04) | H30年度 | R01年度 | R02年度 | R03年度 | R04年度 |
| 1 地域防災リーダー養成講座受講者数 | 地域防災リーダー養成講座のべ受講者数(人) | 22 | 47 | 63 | 63 | 63 | 75 |
| | | 72 | × | × | × | × | ○ |
| 2 木造住宅耐震改修実施棟数 | 耐震診断を実施した後、「危険」と判断された住宅のうち、改修工事を実施した棟数(棟) | 102 | 109 | 115 | 126 | 117 | 119 |
| | | 147 | × | × | × | × | × |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |

| 評価を踏まえた来年度以降の課題 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、多くの事業を中止することになったが、感染状況に注視しつつ、事業再開に向けて準備していく必要がある。 青木川改修工事については、事業主体である愛知県、土地所有者及び地元住民との連携、調整が重要であり、今後も円滑に事業が遂行されるよう、引き続き愛知県と緊密に連携を図っていく必要がある。 |

| 評価を踏まえた来年度以降の改善策 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策がある程度確立してきているが、感染者数が減少してきていることから感染防止対策を順守しながら実施可能な事業を進めていく。 青木川改修工事に関しては、扶桑町としても長年の懸案事項であり、浸水被害の課題解消に向け改修工事の早期完了が望まれていることから、今後も愛知県と連携を図り、事業の早期完了に向けて調整を進めていく。令和4年度は愛知県がカルコスから上流部約1.2kmにわたり測量業務を実施したのち、関係地権者と用地買収の交渉を進めており、一層の連携を図れるよう努める。また、丹羽用排水路改修事業に関しても愛知県や関係市町と緊密に連携を図り、事業の推進に努める。 |

※1 事業の実効性 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%) C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%) C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)